

## 活動事例

### 災害ボランティア 愛・知・人

業者に依頼するしかなかったが、施工は数か月待ちという状況。2か月たっても、いくつものたらいを並べた中で生活されている家。ブルーシートをはり終えると、安堵の笑顔と共に涙して喜んで頂きましたが、自分ではどうすることもできず、雨の予報に怯えながら過ごされたことを思うと、こちらにも涙が出てくるような場面がたくさんありました。

愛知人としても安全を第一に、初心者が安心して屋根に登れる安全帯や親綱を用意して事故のない活動を心がけました。



### レスキューアシスト

大阪府北部地震発災後に、技術系のボランティア団体を中心に茨木市に拠点（茨木ベース）を設置し、台風21号災害においても茨木ベースを拠点として、被災された家屋のブルーシート張り等、技術系の作業を中心に支援活動を行いました。

また、土嚢袋を使わないブルーシートの張り方を開発し、地元団体や業者に対して張り方の講習を行うなど、ノウハウを伝え、地元が主体となれるような土台作りを行いました。今後も取り残される人がないように長期的に支援を続けていく予定です。



## 赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」・台風21号 (ボラサポ・台風21号) 報告 Vol.1

「支える人を支える」しくみ

### 社会福祉法人 岸和田市社会福祉協議会

災害発生時より災害ボランティアニーズの受付を行っており、電話で依頼を受けたケースは原則、職員やボランティアスタッフが自宅まで出向き、現地調査を行いました。また、その際に世帯状況の把握を行いました。総合的に困っていることはないか聞き取りを行いました。屋根のニーズに関しては火災保険加入の有無、罹災証明申請の有無等を確認し、利用できる制度の情報提供を行い、その上で高所作業（ブルーシート張り）が可能な団体と連携し、ボランティア活動を推進してまいりました。



### 社会福祉法人 大阪ボランティア協会

災害ボランティアセンターからニーズを聞き取ったうえで、大阪ボランティア協会会員やパートナー登録団体などにボランティア参加を呼びかけ、応募のあったボランティアを調整し、災害ボランティアセンターの運営支援やボランティア活動を行いました。台風21号災害では災害救助法が適用されなかったこともあり、被災地の声を集めて発信する団体が不在でした。そこで大阪ボランティア協会が被災地の声を集め、会員、登録団体、関係のある企業などに発信することで、多くのボランティアを集めることができました。



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・台風21号(ボラサポ・台風21号) 報告 Vol.1

発行 2019年1月  
社会福祉法人 中央共同募金会  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755  
メール ● support@c.akaihane.or.jp  
ホームページ ● [https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018\\_july\\_gouu/](https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018_july_gouu/)  
ボラサポFacebook ● <https://www.facebook.com/borasapo>

社会福祉法人 中央共同募金会

## ボラサポ・台風21号とは

平成30年9月4日に日本に上陸した台風21号は、近畿地方を中心に大きな被害をもたらしました。台風21号および、前線等に伴う大雨などの影響により、お亡くなりになりました方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災した2府では、14か所の災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による、救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。

また、台風21号が通過した直後に北海道で大地震が発生し、被災した各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を支えるために、資金面のサポートが必要とされていました。この状況を受け、中央共同募金会では、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨災害と並行して、台風21号災害、平成30年北海道胆振東部地震の被災地で支援活動を実施する団体への助成事業を実施することといたしました。

## 助成概要

第1回助成の応募は、10月15日より受付を開始し、7件、合計318万円の応募がありました。

本助成に応募された団体は、今回被災された地域で、中心的にボランティア活動や市民活動を支えるために活動を行っている団体や、被災地域の社会福祉協議会、過去にボラサポの助成を受け、被災地での支援活動の実績をもつ団体でした。

また、台風21号の通過と前後して発生した大阪府北部地震や、平成30年7月豪雨災害の被災地において支援活動中の団体も含まれていました。

応募された活動内容は、ボランティア受け入れのためのボランティアセンター運営のための活動や、被災された住宅の応急処置、家屋の復旧作業などでした。

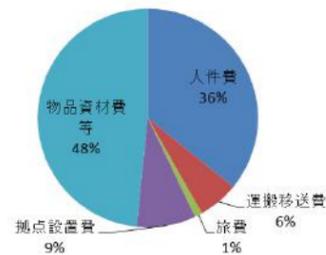
台風21号災害では大きな被害があったにもかかわらず災害救助法の適用とならず、被災自治体なども公的な支援を受けられない状況でした。第1回助成では短期活動のみの助成でしたが、人件費の助成を認めたことで、災害の支援に人を割いていた団体を資金面で支援することが出来ました。

第2回助成では短期活動だけでなく、中長期活動の助成を行うこととしており、被災地の復興支援に長期的に携わる団体の支援ができるよう、実施していく予定です。

### ■ 助成状況（全体状況）

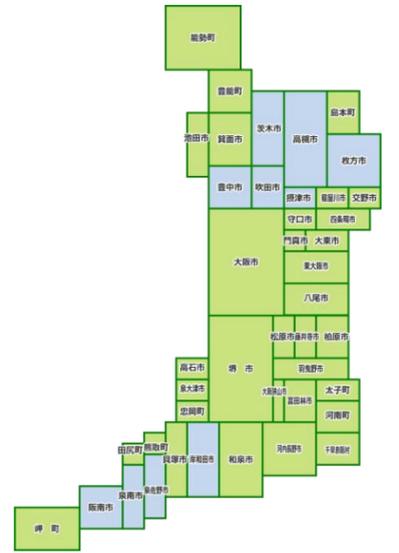
	応募		助成決定		
	件数	助成額（万円）	件数	助成額（万円）	採択率（%）
第1回（短期）	7	318	7	318	100.0

### ■ 助成活用状況



### ■ 活動地域

都道府県	地域	件数	割合
大阪府	茨木市	4	21.1%
	岸和田市	3	15.8%
	吹田市	2	10.5%
	泉南市	2	10.5%
	阪南市	2	10.5%
	豊中市	1	5.3%
	高槻市	1	5.3%
	摂津市	1	5.3%
	泉佐野市	1	5.3%
	枚方市	1	5.3%
和歌山県	紀の川市	1	5.3%
合計		19	100.0%



台風21号災害では広範囲に被害が及びましたが、中でも大阪府の被害は甚大なものであり、府内では11の市町が災害ボランティアセンターを開設し、多くの支援団体が活動を行いました。

また、6月に発生した大阪府北部地震で被害を受けた家屋が台風21号災害により、再度被害を受けたこともあり、北摂地域を拠点として活動する団体が多く見受けられました。

### ■ 活動内容

活動内容分類	件数	割合
被災家屋内外の片付けの手伝い、清掃	7	50.0%
傾聴などの寄り添い活動	2	14.3%
その他（破損した屋根の応急処置、ブルーシート張り）	2	14.3%
炊き出し	1	7.1%
被災者同士のつながりの再生を支援する活動、コミュニティ再生	1	7.1%
情報の収集、各種調査、情報の発信（広報誌、ブログ、ホームページ、コミュニティFMなど）に関する活動	1	7.1%
合計	14	100.0%

### ■ 団体所在地

都道府県	団体数	割合
大阪府	5	71.4%
愛知県	1	14.3%
熊本県	1	14.3%
合計	7	100.0%

## 寄付実績

「ボラサポ・台風21号」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力をいただいています。

これまでの寄付総額 **8,032 万 3,719円**  
(2019年1月4日現在)

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部  
普通預金 口座番号 0042262  
口座名 ● 社会福祉法人中央共同募金会

※ボラサポ・台風21号への寄付金は、税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。  
<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.akaihane.or.jp/find/tax/>